

- 一関市地デジ支援センター
..... P 2~3
- 23年度施政方針
..... P 4~7
- 暮らしの情報
..... P 13~15



「古いものが好きなのだけ」
独特の音と形に魅せられ
納屋で眠っていた発動機を再生

発動機の愛好家 菅原耕起さん

約30年前から発動機の収集を開始。一昨年から昨年まで市内で3回行われた「みちのく発動機まつり」実行委員長を務める。77歳。滝沢字芦沢



File 31

昨春秋、市農業祭と同時に行われた「みちのく発動機まつり」。「ドッドドッド」と独特の音を響かせる発動機が約100台集まり、来場者の関心を引いていました。大正時代から戦後にかけて、脱穀やもみすりなど、農業に広く使われた発動機。小型で使いやすいガソリンエンジンの普及により使われなくなりましたが、その音と姿は今もなお多くの人を魅了します。

実行委員長を務めた菅原耕起さんもその一人。子供の頃、手作業で脱穀をする傍らで近所の家で使っている発動機を見て「うちにもあれば」と思っていました。林業機械を扱う会社に勤めていた時、各戸を訪ね歩いて目に入ったのが、使われず納屋の片隅で眠る発動機。音と形に魅せられて約30年前から集め始め、一時は150台以上にもなりました。現在は状態のいい10台を手元に置きます。

ずっと一人で楽しんでいた菅原さんが仲間と交流するようになったのは、ここ8年。宮城県登米市の愛好家が代表を務めるみちのく発動機愛好会に入会し、宮城県などで行われるイベントに自慢の発動機と参加するようになりました。「仲間では最年長。最近は大形バイクを経由して発動機に興味を持つ若い人もいる」と交流を楽しみます。

発動機以外にも、木製の脱穀機やむしろ編みなど、昔の農具を多数収集。25年前から北欧製のまきストーブを使い続ける生活と共通するのは、好きなことに手間を惜しまないこと。「古いものが好きなのだけ」と傍らで煙を吐く発動機に目を細めます。

一関市地デジ支援センターが開所

7月24日にテレビの地上アナログ放送が終了し、デジタル放送に完全移行します。市は市民の皆さんの地デジへの移行を支援するため、3月1日、千厩支所内に一関市地デジ支援センターを設置しました。電波状況が不安定な地域の皆さんのご自宅を直接訪問するなど、各世帯にとって地デジ視聴のため最も有効な方法を一緒に検討していきます。

アナログテレビのままでは「地上デジタル放送」を見る事ができません。地上デジタル放送を見るためには、デジタルテレビに買い換えるか、チューナーを買い足すなどの準備が必要です。



地デジチューナーの無償給付申請を支援

3月1日、市役所千厩支所で行われたオープニングセレモニーでは、勝部市長が「地デジに関する市民の皆さんの不安を解消するため、市独自にこのセンターを設置した」とあいさつ。総務省東北総合通信局の櫻庭修受信者支援室長がこのセンターを活用して完全デジタル化を達成できることを願うと祝辞を述べました。

一関市地デジ支援センターは、市から業務委託を受けた㈱一関ケーブルネットワークが運営。9人の支援員が、地デジを受信するためのさまざまな支援を行っています。

1▼生活保護などの公的扶助を受けている世帯▽世帯全員が市民税非課税で障がい者のいる世帯—などのうち、NHKの放送受信料が全額免除となっている世帯では、「簡易チューナー」の無償給付と訪問設置、必要な場合はアンテナなどの改修が受けられます。

2世帯全員が市民税非課税世帯では、「簡易チューナー」の無償給付が受けられます。ただし、設置は自己負担となります。

支援センターでは、12の申請や設置方法の相談に応じます。

高齢者や障がい者に對して支援

「地デジチューナー」「高性能アンテナ」など、地デジに関しては聞きなれない言葉が多く使われています。実際にどのような手続きをすればよいか、わからない世帯に対して、支援センターでは行政区长や民生委員の協力をいただきながら直接世帯を訪問し、わかりやすく説明を行います。

アンテナの最適な設置方向をアドバイス

受信できない原因の一つとして、アンテナが中継局の方



衛星放送受信申請を支援

地上アナログ放送が終了するまでに地上デジタル放送の電波が届かない地区に居住している人に、暫定的に衛星放送を利用し地上デジタル放送の番組を送信します。

支援センターでは、その申請手続の支援を行います。

高性能アンテナ助成申請を支援

一般アンテナで地上デジタル放送を受信できない世帯で、高性能アンテナを設置すれば視聴可能となる場合、経費の一部が国の助成制度の対象となります。

支援センターでは、制度の説明と対象世帯の助成申請の支援を行います。

デジサポ岩手と連携し最善の視聴方法を模索

地デジの受診調査や相談は、総務省のデジサポ岩手が窓口となっておりますが、支援センターではデジサポ岩手と連携をとり、最善の視聴方法を探



- 1 / 関係者がテープカット
- 2 / 家庭訪問し簡易アンテナキットで正しいアンテナの向きをアドバイス
- 3 / 支援員は専用ユニフォームを着用し、身分証を携帯します
- 4 / 支援員はこのような身分証を携帯



地上デジタル放送波受信確認3つのポイント

1 アンテナは受信可能な中継局の方向を向いていますか？

地上デジタル放送の電波はUHFアンテナを使用します。現在使っているアンテナを使用できますが、自宅のアンテナが受信可能な中継局の正しい方向に向いているかどうかを確認してください。

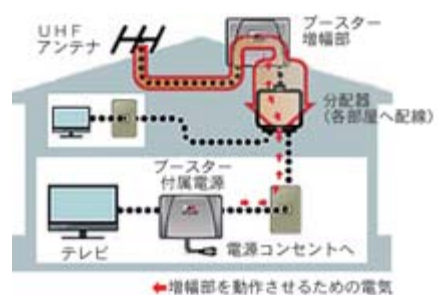
2 アンテナを調整しましたか？

アンテナを上下左右に微調整すると、アンテナレベルが徐々に変化します。数値を確認しながら最大レベルになるよう微調整してください。



3 ブースターを確認しましたか？

各部屋への分配数が多い場合は、信号レベルが低下することからブースターを分配器の前に設置します。アンテナに近い位置ほど効果が得られます。また、年数を経過しているブースターは地上デジタル放送に不具合な場合もあります。アンテナと合わせて、室内の装置や配線も確認してください。



地デジ支援センターでは、金銭の請求や振り込み依頼は絶対に行いません。地デジ支援センターを名乗る詐欺などにご注意ください。不審な場合は、市役所(担当:本庁企画調整課)にお問い合わせください。

◎地デジ支援センターに関する問い合わせ先:
本庁企画調整課 ☎218633

一関市地デジ支援センター
◆場所:市役所千厩支所 西棟2階 千厩町千厩字北方174
◆開設時間:9時~19時 (土・日・祝を含む毎日)
◎問い合わせ先: ☎2118118 FAX ☎21119



安全・安心でおいしい米づくりを促進し、水田の基盤を生かした作物再編を進めます。経営の安定化と国内生産力の確保を図るとともに、戦略作物への作付転換を促進し、食料自給率の向上と農業の多面的機能の維持を目指すため、国の農業者戸別所得補償制度の推進と活用を努めます。

ナス、トマト、小菊、干しシイタケを中心とした生産振興策を講じ、市場に信頼される安定産地の確立を目指すとともに、地産地消の拡大を進めます。ハクビシンや熊などによる農作物の被害対策については、市鳥獣被害防止対策協議会を中心に、その対策に取り組みます。

経営体質の強い畜産農家の育成に努めるため、経営基盤

◆**工業・雇用**
企業における人材育成の視点と経営強化の視点を両面から支援します。一関高専との

◆**商業・観光**
中小企業振興資金の融資枠の確保や、ど市、互市、夜市などの各種イベントを通じた商業振興を図るほか、一関市連合大売り出しでの共通商品券事業を支援します。

平泉と市内の観光地を周遊する外国語パンフレットなどを作成するほか、観光地を結ぶ二次交通の整備など、観光

◆**健康・医療**
健康いちのせき21計画および食育推進計画の周知啓発に努めながら、市民の自主的な健康づくりや健全な食生活のあり方について、意識の高揚を図ります。健康づくりの拠点施設である一関保健センターは、子育て支援部門などを併設した新たな「保健福祉センター」として整備するため、その基本設計に着手します。健康診査については、疾病の早期発見、早期治療を図るため、循環器系健康診査や各種がん検診などを実施します。

国民健康保険については、被保険者の健康増進や各種制度の周知を図り、事業の健全な運営に努めます。後期高齢者医療は、岩手県後期高齢者医療広域連合との連携を密に

◆**子育て支援**
第3子以降の保育料無料化のほか、川崎保育園において0歳児保育を開始。また、0歳



地域医療は、新たに地域医療・介護連携推進事業に取り組み、医療機関相互の連携や機能分担、医療と介護の連携体制づくりを進めるとともに、長期的な視点から医師確保を図るため、医師修学資金貸付事業を実施します。また、休日当番医制事業などによる初期救急医療の確保や医療機関の適正受診などの意識啓発に努め、県立病院などの負担を軽減します。医療機関、市民、行政、それぞれの役割や連携を強化しながら地域医療体制の充実を図ります。

しながら、制度の適切な運営を図ります。

平成23年度 施政方針 確実な一歩を踏み出す 中東北拠点都市の基礎づくり

勝部修市長は、2月22日、第31回市議会定例会で23年度の施政方針を示しました。本号では、その概要をお知らせします。



グローバル化と地域の自立

地方の経済情勢は依然として厳しい雇用環境にあるなど、危機的状況から抜け出せない状況に置かれています。それに加え、グローバル化の波の中にあります。その危機を乗り越えるためには、解決に向けて行動を起こすことが必要であり、これが地域としての自立につながっていくものと考えています。

課題に立ち向かう 平成23年度予算

23年度当初予算の総額は604億5900万円、前年度より2.7割の増額です。当初予算の総額としては合併以降最大となる積極型で、「中東北拠点都市への基礎づくり予算」とし、市民生活のさらなる安定を図り、明日につながる確実な一歩を踏み出すことを念頭に編成しました。

重点施策① 子育てを応援するまちづくり

医療費無料化の対象年齢を就学前から小学生に拡大し、子供の健康増進と保護者の経済的負担の軽減を図ります。また、子宮頸がん予防ワクチ

ン、ヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチン接種事業を全額公費助成により実施し、疾病の予防に努めます。さらに、子育ての各段階に応じた相談や支援が行えるように、スタッフの充実を図るとともに、発育期における支援が必要な子供に対する特別支援教育を拡充します。

重点施策② 雇用対策と産業振興

雇用対策 (入り口から出口まで)

技能・技術などの資格取得を支援するほか、雇用の安定・定着を図るため、地域企業パワーアップ支援事業および中小企業の魅力発信力向上事業を実施します。また、ふるさと就職支援事業を実施し、新規高卒者の地元就職を支援するとともに、介護保険事業所等人材確保支援事業などの拡充を図り、地域で働く人材の確保を支援します。

◆産業振興(地産外産に挑戦)

「一関産」が全国に通用するブランドとなるよう、物産や観光資源のブランド力を高め、一関のめぐみブランド化推進事業や一関の物産と観光展の開催、地域資源販路開拓事業などを強力に推進します。

24年度に予定されている「いわてディスプレイネーションキャンペーン」のプレ・キャンペーンを展開し、地域の観光資源を内外にアピールします。さらに、栗駒山を囲む宮城県栗原市、秋田県湯沢市ならびに東成瀬村と連携して、県境を越えた中東北としての観光商品づくりに取り組みます。

重点施策③ 中東北の拠点都市一関の形成

基幹となる道路網の整備を進めるとともに、地域医療や観光などの県際連携を積極的に推進します。

子供たちを筑波研究学園都市に派遣し、研究者と交流する機会をつくり、学術研究都市としての構想策定にも取り組みます。

磐井川堤防改修事業については、市街地の将来を見据え、世代間交流などのエリアを設けるなど、ゾーニングについて検討していきます。

協働推進アクションプランを実施するため、市内30公民館の区域を基本に、横断的な組織づくりに取り組み、市民活動団体が活動しやすい基盤づくりを推進します。市全域を通じたコミュニティの醸成と災害防災情報の迅速な提供

を目指し、コミュニティFMラジオ局の開局に向けた準備を進めます。

また、移動市長室の実施のほか、いちのせき元気な地域づくり事業を拡充し、市民との創意工夫により、市全体の活性化につなげていきます。

平泉文化遺産の世界遺産登録に向けては、最大限の支援を行うとともに、登録実現後は、県が企画実施する「いわて平泉年」の取り組みと連携し、地域づくりに生かしていきたいです。「平泉ナンバー」の実現に向けた運動を進めます。

分野別の主な施策

①地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり

◆**農業**
生産体制の強化と担い手の育成、高付加価値化と販路拡大を総合的に進めます。情報発信力を高めながら、信頼される産地づくりを目指します。経営感覚に優れた農業者や効率的な営農組織の育成、加工・販売など農業の6次産業化に向けた人材の育成に努めます。中山間地域等直接支払制度や農地・水保全管理支払交付金などを活用した取り組みを支援します。



◆幹線交通網の整備
国道284号室根バイパスの早期工事着手のため、用地買収を促進するとともに、弥栄地区の道路改良について要望します。国道342号厳美バイパスおよび花泉バイパスについては、早期完成を促進するとともに、花泉バイパス以南から宮城県境までの整備促進について要望します。国道343号大原バイパスおよび主要地方道一関大東線生出・流矢地区、国道456号摩王地区の交差点については、関係機関と連携しながら整備促進に努めます。

また、歩行者の通行環境改善を図るため、国道4号一関大橋以南の四車線化について要望するとともに、広域幹線道路となる(仮称)栗原北上線の県道昇格を関係市町一体となつて要望します。

④人と情報が活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり

大橋以南の四車線化について要望するとともに、広域幹線道路となる(仮称)栗原北上線の県道昇格を関係市町一体となつて要望します。

◆テレビ放送デジタル化
7月の完全デジタル化に向け、中継施設整備などの対策を進めるとともに、市が設置する「地」デジタル支援センターを

◆市営バス
市営バスなどの運行のあり方について検討するほか、室根方面から磐井病院への直通乗り入れの試験運行を行い、利用者ニーズの把握に努めます。また、地域住民の利便を図るため、トイレが無い8カ所の駅前トイレを整備します。一ノ関駅西口北駐車場については、拡張整備を図り、利用者の利便性向上に努めます。

◆地球温暖化対策
地球温暖化対策の意識啓発を図るとともに、住宅用太陽光発電システムの導入支援などによる新エネルギー・省エネルギー・省CO₂削減に取り組みます。ごみの減量化、資源化については、市民の意識啓発を図るとともに、不法投棄防止対策専門員の配置および監視カメラの設置を行うなど、不法投棄を許さないまちづくりを推進します。

◆公共下水道事業
千厩地域の供用を開始するとともに、一関、花泉、千厩および東山地域の供用区域を拡大し、快適な生活環境の向上に努めます。また、下水道未接続世帯への普及や合併処理浄化槽の設置を図り、水洗化の促進に努めます。

◆簡易水道事業
厳美・萩荘のほか、真滝、弥栄、舞川、興田・猿沢、磐清水・奥玉・小梨および田河津の簡易水道事業を推進し、水道未普及地域の解消に努めると

◆景観形成
市民が主体的に取り組む景観まちづくり活動への支援を行い、自然と共生するまちづく



◆景観形成
市民が主体的に取り組む景観まちづくり活動への支援を行い、自然と共生するまちづく

◆高齢者福祉
住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、健康づくりや生きがいづくりの活動を支援します。また、特別養護老人ホーム入所待機者の解消に向け、施設の整備を促進します。さらに、高齢者福祉乗車券交付事業の対象年齢を70歳以上に拡大し、社会参加の一層の促進を図ります。今後さら

◆災害・防災
岩手・宮城内陸地震により被災した旧祭時大橋および市野々原土砂ダムについては、災害遺構として活用し、市民

⑤水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり
地球温暖化対策の意識啓発を図るとともに、住宅用太陽光発電システムの導入支援などによる新エネルギー・省エネルギー・省CO₂削減に取り組みます。ごみの減量化、資源化については、市民の意識啓発を図るとともに、不法投棄防止対策専門員の配置および監視カメラの設置を行うなど、不法投棄を許さないまちづくりを推進します。

◆人材育成
地域の将来を担う子供たちが、勤労観・職業観を身に付け、自立できるようキャリア教育に取り組みます。また、学校図書館への読書普及員の増員など読書環境の向上を図るとともに、一関

◆男女共同参画
28年度を目標年次とする第2次男女共同参画推進プランの策定を進めます。

児保育を実施しているすべての市立保育園で、生後2カ月からの受け入れを行います。さらに、発達の遅れが認められる児童などの健全な成長を促す「かるがも教室」を拡充し、早期療育事業の一層の充実に努めます。

◆生活保護
適正な保護の実施に努めるとともに、その自立を支援するため、新たに社会参加推進プログラム事業を実施し、社会参加や就労体験の場の提供に努めます。

◆防犯・生活相談
交通安全および防犯思想の意識高揚を図るとともに、防犯灯の設置を支援するなど、安全で住みよい地域社会の構築に努めます。本庁および千厩支所に消費生活センターを設置し、消費生活や多重債務に関する相談に対応します。

◆防犯・生活相談
交通安全および防犯思想の意識高揚を図るとともに、防犯灯の設置を支援するなど、安全で住みよい地域社会の構築に努めます。本庁および千厩支所に消費生活センターを設置し、消費生活や多重債務に関する相談に対応します。

◆スポーツ振興
8月の全国高等学校総合体育大会に向けて、円滑な運営と全国からの選手・関係者の受け入れ体制を整えます。また、磐井川堤防改修事業の進捗に合わせ、一関水泳プールおよび青葉テニスコートの移転整備を進めます。



◆学校教育施設
25年4月の開校を目指し、(仮称)大東小の校舎建設に着手します。また、千厩小校舎、興田中校舎などの耐震改修工事を実施するとともに、山目小・東山中校舎の耐震補強・改修工事を進め、安全確保と教育環境の向上に努めます。

◆学校教育施設
25年4月の開校を目指し、(仮称)大東小の校舎建設に着手します。また、千厩小校舎、興田中校舎などの耐震改修工事を実施するとともに、山目小・東山中校舎の耐震補強・改修工事を進め、安全確保と教育環境の向上に努めます。

※DV(ドメスティックバイオレンス)…配偶者からの暴力など



平成23年度 教育施策概要 新しい時代を切り拓き 豊かな心を育むまちづくり

鈴木功教育委員長が2月22日、第31回市議会定例会で述べた教育行政施策の概要をお知らせします。

今日の社会の現状は、少子高齢化による人口構造の急激な変化や高度情報化、経済のグローバル化の進展、厳しい雇用情勢など、社会経済環境が大きく変化してきております。

このような中、教育の分野においては、一人ひとりが将来の夢や目標を抱き、時代の変化に主体的に対応できる確かな力を育む教育の構築とともに、子どもから高齢者にいたるまで、それぞれのライフステージに応じたさまざまな施策が求められております。

当市の教育振興につきまして、こうした社会の変化等を踏まえながら、一関市教育振興基本計画に基本目標として掲げる「新しい時代を切り拓き豊かな心を育む学びのまちづくり」の具現化に向け、生涯学習、学校教育、社会教育、文化芸術、生涯スポーツの各般にわたる教育行政施策に取り組みまいります。以下、その具体について申し上げます。

①人生を豊かにする 生涯学習の推進

一関に住み暮らす誰もが、生きがいを持ち、心豊かで、健康かな生活が送れるよう、生涯にわたって学ぶことができる環境づくりが大切と認識しております。

い教育環境の確保を図るため、市民理解を得る取り組みを引き続き進めてまいります。

③共に学びあう 社会教育の推進

社会教育事業につきましては、市民一人ひとりが生きがいのある充実した生活が送られるよう、生涯にわたる多様な学習機会の提供や学習活動の促進に努めてまいります。また、家庭教育事業としては、すべての教育の原点と捉え、子どもたちに正しい生活習慣を身に付けさせ、心身ともに調和のとれた人間に成長できるように、家庭教育の支援に努めてまいります。さらに、ことばを大切にすることを、公民館でのことばの地元学講座の開催や図書館でのことばをテーマにした企画展などを実施してまいります。

図書館施設につきましては、一関図書館の開設準備を進めるとともに学校図書館との連携も踏まえ、図書館サービスマットの構築を進めるため、新図書館の開設準備室を設置してまいります。平成24年度建設着手に向け一関図書館および花泉図書館の実施設計を進めるとともに、一関図書館振興計画や図書館整備を念頭に置いた図書資料の計画的な充実に努めてまいります。

このため、家庭教育・学校教育・社会教育のそれぞれの領域で、連携を深め生涯学習を推進してまいります。

特に、次代を担う子どもたちが、それぞれ直面するであろうさまざまな課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人、職業人として自立していくことができるようキャリア教育の充実を図ってまいります。

さらに、読書は、ことばを学び、感性を磨き、表現力を高め、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものでありますことから、読書の大切さについて家庭、地域社会の共通理解を図ってまいります。

②新しい時代に生きる力を 育む学校教育の推進

学校教育につきましては、確かな学力と豊かな心を育てる教育を基本にし、ことばを大切にすることを教育とキャリア教育を重点に進めてまいります。

確かな学力の育成につきましては、児童生徒の学力実態把握に努め、指導主事および学習指導専門員による全小中学校に対する学力向上のための指導・支援の充実を図ってまいります。中でも、学力向上は生活・学習習慣の形成によるところが大きい

公民館施設につきましては、金沢公民館トイレ改修工事、千厩公民館の屋根防水工事や田河津公民館のエアコン設置工事など各公民館施設の施設環境の充実に努めてまいります。

④多様で個性ある 文化の創造

文化芸術の振興につきましては、芸術文化協会など関係団体との連携を図り、市民の多様な活発な文化芸術活動を促進してまいります。郷土芸能の伝承保存につきましても、保存団体の活動を支援するとともに、地域で継承していくための環境づくりを促進してまいります。

骨寺村荘園遺跡の世界遺産追加登録に向け、専門家の助言や地元の方々のご協力をいただきながら、昨年度に引き続き「陸奥国骨寺村絵図」に描かれる骨寺堂跡の所在確認調査を実施するとともに、不動窟と伝ミタケ堂跡の確認調査を実施します。市内に所在する指定文化財については、文化財の保存活動を行う団体に対し支援を図ってまいります。

博物館につきましては、平泉の文化遺産が6月のユネスコ世界遺産委員会で審議されることから、密接に関連する骨寺村荘園遺跡について、これまでの調

ことから、家庭と連携した学校の取り組みを支援してまいります。また、2小学校1中学校での学校研究公開や、全小学校へのALT派遣による小学校外国語活動など新教育課程を踏まえた授業の充実を図ってまいります。

豊かな心の育成につきましては、平成21年度からの不登校数減少傾向を維持し、学校不登校状況に一層きめ細かに対応するため、教育相談員による相談事業をはじめとして、適応支援相談員、訪問型相談員等の配置をすすめる「タンポポ広場」において学習・相談活動を支援してまいります。また、幼児期からの就学指導をはじめ、学校適応に向けて効果的に働きかけるため、特別支援コーディネーター、学校サポーターを増員し特別支援教育の一層の充実を図ってまいります。

ことばを大切にすることを教育ににつきましては、ことばの研究推進校3校、研究協力校6校の指定と併せ、児童が集う「ことばサミット」開催などを通して、ことばを大切にすることを、全小中学校に広げてまいります。また、学校・家庭の連携による読書活動を展開するとともに、読書普及員を増員配置し学校図書館を温かな学びの場としながら、学校図書の実用や全小中学校図書館

ことから、家庭と連携した学校の取り組みを支援してまいります。また、2小学校1中学校での学校研究公開や、全小学校へのALT派遣による小学校外国語活動など新教育課程を踏まえた授業の充実を図ってまいります。

調査・研究の成果をまとめたテーマ展を開催します。

平成23年は「言海」発刊120年に当たることから、企画展「ことばの海」を開催し、また当市ゆかりの洋画家森本仁平氏の生誕100年にあたることから、森本作品の魅力を紹介するテーマ展を実施してまいります。

芦東山記念館では、特別展「芦東山ゆかりの地を巡る」を開催、石と賢治のミュージアムでは、国の登録有形文化財建造物である旧東北砕石工場保存のための改修設計を実施してまいります。

⑤地域に根ざした 生涯スポーツの推進

生涯スポーツにつきましては、各関係団体と連携を図り、スポーツ教室やスポーツレクリエーションの各種事業を実施し、市民の健康づくりの促進に努めてまいります。

また、子供たちに夢を持つことや仲間と協力することの大切さを学ぶ機会として、夢の教室を引き続き開催するとともに、学生等のスポーツ合宿の招致などによる競技スポーツの推進に努めてまいります。

さらには、本年8月に当市で開催される平成23年度全国高等学校総合体育大会体操競技の円滑な運営に努めてまいります。

と市立図書館との相互利用などを通じて、さらなる読書環境の充実を図ってまいります。

キャリア教育につきましては、市内全中学校の2年生を対象とした原則5日間の社会体験学習を実施し、その成果をフォーラムで確認し地域社会に広げてまいります。そして新たに、科学技術への啓発とキャリア教育のため、市内中学生60人を最先端科学施設が集まるつくば市へ派遣する中学生科学体験研修事業に取り組みます。

学校給食につきましては、安全安心な給食の供給を心がけながら、地場産食材の利用に意を配した運営に努めるとともに、授業等での食育指導や食育担当者研修などを実施しながら市内全小中学校での食育推進を支援してまいります。

(仮称)千厩学校給食センターにつきましては、平成24年4月から千厩地域、室根地域、藤沢町の9小学校、3中学校への供給開始を目指し、建設工事に取り組みしてまいります。

また、藤沢町との合併に向けて、交流授業等を通して地域の相互理解と交流につなげることも、「いま地域の学校がおもしろい冊子」等を活用し、地域理解にとどまらず地域の教育力を一層活用する教育活動を推進してまいります。

社会体育施設につきましては、一関市体育協会と連携を図りながら、スポーツ施設の適切な維持管理に努めるとともに、磐井川堤防改修事業に伴う一関水泳プールの移転につきましては、総合体育館の機能との相乗効果を図るため、移転予定地を総合体育館西側市有地とし、平成24年度からの供用開始を目指して整備を進めてまいります。

青葉テニスコートにつきましては、移転予定地を一関運動公園テニスコート隣接地とし、平成25年度からの供用開始を目指し、本年度は造成工事を進めてまいります。

また、花泉運動公園野球場の内野舗装補修工事や大東体育館トイレ改修工事など施設の整備を行い、競技環境の向上に努めるとともに、利用者の利便性を図ってまいります。

5年間で95億6千万円の効果

市は市民と行政の連携・協働によるまちづくりと限られた財源の中で足腰の強い財政基盤を確立するため、平成18年12月に「一関市行政改革大綱」を策定し、これを着実に実行していくための具体的な実施計画として「一関市集中改革プラン」を定め、行財政改革を計画的に進めています。

この5年間の財政効果は、集中改革プランの当初見込み額を23億3200万円ほど上回る96億6200万円で、その主な取

り組みと、見込まれる財政効果額(平成17年度との比較)は下表のとおりです。

市は、今後も財政基盤の健全化を図りながら、市民福祉の向上と市民起点の行財政運営を推進します。

◎問い合わせ先 本庁財政課 ☎21-8233

※「財政効果額」の()書きは集中改革プランでの見込額 金額単位:百万円

改革項目	主な取り組み	財政効果額(17年度との比較)					5力年度 合計
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度 見込み	
【事務事業の見直し】							
事務事業の整理合理化など	◇事務統合による議会・行政委員会事務費、市長等交際費、電算システム、広報作成費などの削減 ◇「必要性」「効果性」「効率性」「公平性」の視点で事務事業の見直し ◇弥栄診療所の民営化 ◇職員研修(宿泊)の見直し	92 (89)	1億05 (1億27)	1億05 (1億78)	1億40 (2億67)	1億70 (3億16)	6億12 (9億77)
補助金等の整理合理化	◇団体の運営費に対する補助金5%削減 318件 ◇見直しによる補助金などの廃止、削減 281件 ◇旧市町村ごとに制度が異なる補助金の見直し	50 (50)	88 (61)	1億03 (65)	1億24 (66)	1億60 (77)	5億25 (3億19)
民間委託等の推進	◇市道の管理、除雪業務を地域の住民に委託 ◇本庁と支所間の文書送達業務の委託 ◇市所有庁用バス運行の民間委託	9 (1)	61 (55)	74 (82)	1億25 (1億22)	1億38 (1億56)	4億07 (4億16)
公共施設運営の見直し	◇指定管理者制度の導入 一関文化センター、一関市総合体育館、その他体育施設など 110施設 ◇施設の廃止(休止を含む) 花泉高等職業訓練校、木茂木児童館、あゆみ荘、京津畑保育園、東山勤労青少年ホーム、東山畜産センター、内野保育園、室根山荘、東山ふるさとセンターなど	31 (4)	1億15 (37)	1億90 (64)	2億19 (1億88)	2億22 (2億87)	7億77 (5億80)
小計①		1億82 (1億44)	3億69 (2億80)	4億72 (3億89)	6億08 (6億43)	6億90 (8億36)	23億21 (22億92)
【定員管理および職員給与の見直し】							
職員削減など②	◇職員数の削減 218人 22年4月1日現在の職員数 1358人(合併時1576人) ◇時間外勤務手当の削減 ◇市長、議員などの給料、報酬削減(削減率7.5~5.0%) ◇議員定数の減 7人(新任期において34人へ)	4億03 (3億78)	8億43 (6億42)	13億32 (9億50)	17億20 (12億41)	19億32 (16億18)	62億30 (48億29)
【経費の節減合理化等財政の健全化】							
事務の効率化など	◇内部管理事務費の5%削減 ◇公用車の台数削減 ◇市債の繰上償還による後年度負担(利子)の軽減 ◇一般事務用封筒、窓口用封筒の寄付による作成費用の削減	32 (31)	2億43 (89)	4億08 (1億90)	5億38 (2億15)	6億58 (2億65)	18億79 (7億90)
税の徴収対策などの実施	◇市税等収納対策委員会による収納率向上および滞納防止策の検討 ◇徴収体制の強化…夜間、休日訪問徴収および徴収嘱託員の配置、管理職による臨戸訪問 ◇岩手県地方税特別滞納整理機構への加入 ◇市税のコンビニ収納の実施 ◇市税滞納処分による差し押さえ財産のインターネット公売	19 (48)	50 (70)	95 (70)	69 (69)	78 (69)	3億11 (3億26)
使用料・手数料の見直しなど	◇市立幼稚園・保育園保育料の段階的統一 ◇千厩、川崎歯科診療所の虫歯予防事業有料化 ◇下水道、農業集落排水の料金改定 ◇市広報、ホームページ、体育施設、周辺案内板への広告掲載 ◇公の施設使用料などの見直し	46 (1)	15 (17)	45 (19)	59 (34)	60 (34)	2億25 (1億05)
公有財産の売り払い	◇遊休資産などの売却 ◇宅地分譲および工業団地の売却促進 ◇公用車の売却	76 (55)	98 (99)	47 (94)	46 (78)	40 (78)	3億07 (4億04)
小計③		1億73 (1億35)	4億06 (2億75)	5億95 (3億73)	7億12 (3億96)	8億36 (4億46)	27億22 (16億25)
④ ①を含む人件費の控除(※)		62 (4)	2億42 (1億03)	3億92 (2億09)	4億87 (4億84)	5億28 (7億16)	17億11 (15億16)
合計(①+②+③-④)		6億96 (6億53)	13億76 (10億94)	20億07 (15億03)	25億53 (17億96)	29億30 (21億84)	95億62 (72億30)

※ 民間委託の推進及び指定管理者制度の導入により職員の削減が行われているものについては、その効果額が①「事務事業の見直し」と②「職員削減など」の両方に重複して計上されていることから、それを差し引くものです。

多くの「提言をいただいています」

市民の皆さんが市政に関して日ごろ感じていることなどを市長に気軽に伝える機会として行っている「市長へひとこと」。寄せられたものの中から一部を紹介いたします。

いただいた「提言やご意見」は、勝部市長が必ず目を通し、必要に応じて関係課などに指示を行っています。匿名ですと、その指示した内容などをお答えできなくなりますので、氏名、住所などをお書きいただけますようお願いいたします。



市長へひとことリーフレット

また、お寄せいただいたご提言は、市政運営の参考にさせていただきます。

広報の発行について

広報が月2回発行されるが、ほとんど読んでいない。わが家では、資源ごみとして処分している。廃止してはどうか。

市政に関する情報、市民生活の身近な情報など、たくさ

んの情報をタイムリーにお伝えできるよう、また、市民の皆さんへお知らせすべき市政情報が多いことなどから、月2回発行しています。

現在、1日号掲載の市民のひろばや15日号掲載のほっとニュースなど、毎号各地域の話題を取り上げ、掲載しています。

広報には、休日当番医や各種検診の日程など生活に欠かせない情報も多く掲載しております。

これらのことから各ご家庭のお手元に置いていただき、ご活用いただくことが必要だと考えております。

今後とも、市民の皆さんに親しまれる広報づくりを目指し、紙面の充実には意を配してまいりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

職員の手当などについて

市職員に住居なども手当が

出ているようだが、一般企業ではありえない。また、何年前に眼鏡を買ったとき市職員に補助が出ていたと問題視されたが、今もそのようなことはあるのか。

(匿名)

住居の手当は、現在、住宅を借り受けてその家賃が一定額を超える職員へ条例に基づいて支給しています。

また、眼鏡購入に対する補助金は、現在ありません。すべて職員個人で購入しています。

臨時職員の採用について

1 市の臨時・非常勤の採用で、特定の者の公募を制限したり、縁故やあっせんにより特定の者を優遇しているという噂があるが本当ですか。

2 臨時・非常勤の応募者の個人情報が出てくるという噂を聞きますが本当ですか。

3 市の退職者が非常勤のポストに充てられているという話を聞きますが本当ですか。

(匿名)

1 について
市の採用は、原則、公募としており、年齢や性別、出身地や学歴などを条件とすることは

ありません。ただし、業務に必要な資格や経験などの条件を付す場合があります。また、採用者の選考は、面接や作文などを通して厳正に審査しており、特定の者が縁故やあっせんにより優遇されることは一切ありません。

市では、今後においても公平な受験の機会を提供してまいりますので、市民の皆さんには風評に惑わされることなく、公募に参加していただきますようお願いいたします。

2 について

市では、個人情報保護条例に基づき、情報の収集、管理と提供を行っており、電算システムには厳重なセキュリティを施しております。文書管理にあっても、文書取扱規程により作成、保管、回覧の方法を定め、機密情報の廃棄には職員がリサイクル工場に同行し万全を期しております。

3 について
市では退職職員に対してポストをあつせんすることはありません。

ただし、退職した職員が公募に参加することを妨げるものはありません。

◎問い合わせ先
本庁市民課
登録係

住所変更 手続き

引っ越しの際はお忘れなく!

*本人または同一世帯員以外の人が届け出する場合は「委任状」が必要です

転入

引っ越した日から14日以内に、新しい住所の番地、アパート名などを確認して届け出てください。
引っ越す前には届け出できません。

【届け出に必要なもの】

▷前住所地で発行された転出証明書
▷窓口に来る人の印鑑と運転免許証またはパスポートなどの写真の貼ってある官公署が発行した身分証明書(お持ちでない場合は、健康保険被保険者証と年金手帳など2点を持参してください)

転居(市内での引っ越し)

引っ越した日から14日以内に、新しい住所の番地、アパート名などを確認して届け出てください。
引っ越す前には届け出できません。

【届け出に必要なもの】

▷窓口に来る人の印鑑と運転免許証またはパスポートなどの写真の貼ってある官公署が発行した身分証明書(お持ちでない場合は、健康保険被保険者証と年金手帳など2点を持参してください)
▷市で発行した健康保険被保険者証、医療費受給者証、住民基本台帳カードなど

転出

市外に引っ越す時は転出先の住所を確認し、引っ越しの前後14日以内に届け出をしてください。

【届け出に必要なもの】

▷届け出に来る人の印鑑
▷窓口に来る人の印鑑と運転免許証またはパスポートなどの写真の貼ってある官公署が発行した身分証明書(お持ちでない場合は、健康保険被保険者証と年金手帳など2点を持参してください)

▷印鑑登録をしている人は印鑑登録証
▷市で発行した健康保険被保険者証、医療費受給者証など
【届け出しないまま引っ越した場合は郵送で届け出を】

①転出届書②切手を張った返信用封筒③届け出人を確認できる運転免許証やパスポートまたは住民基本台帳カードや健康保険被保険者証などのコピーを同封し、〒021-8501(住所不要)一関市役所市民課までお送りください。

届け出用紙は、市ホームページからもダウンロードできます。

また、①引っ越す人の氏名、生年月日②新住所、旧住所③引っ越しの年月日④届け出人の氏名、印鑑、昼間連絡がつかない電話番号⑤住民基本台帳カードの有無一を記載した任意の書面での届け出も可能です。

住基カードでの 転入・転出

転出・転入の届け出について、通常の転出証明書の交付を受けて転入届け出をすることができるほか、転出の届け出を行い、転入時に住民基本カード提出による方法もあります。詳しくは市役所市民課までお問い合わせください。

法務局統合に伴い市役所に証明書交付窓口を設置

盛岡地方法務局一関支局は3月22日、同水沢支局に統合し、一関支局が廃止されることになりました。

同日から市役所本庁1階総合案内脇に「登記事項証明書等発行請求機」を設置し、「盛岡地方法務局水沢支局証明書交付窓口」として次の証明書発行事務を開始します。

証明書の交付手数料の支払いに必要な印紙は、市役所本庁売店(2階)で購入できます。

◆証明書発行窓口で取り扱う業務…①不動産および会社・法人の登記事項証明書②会社・法人代表者事項証明書および印鑑証明書

◆利用時間…平日9:00~12:00、13:00~16:30

◎問い合わせ先…盛岡地方法務局水沢支局 ☎0197-24-0511

募集

東北地区国立大学法人等職員採用試験

◇受験資格：昭和57年4月2日以降に生まれた人◇受付期間：4月1日(金)~8日(金)※WEBでのみ受け付けます。◇第1次試験日：5月15日(日)◇第1次試験地：弘前市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市

◎問い合わせ先：同実施委員会採用試験事務室(東北大学本部内) ☎0222(2)175676 ホームページ：<http://www.bureautohokkai.jp/shiken/>

法務教官(A・B)採用試験
◇受験資格：▼昭和57年4月2日~平成2年4月1日生ま

消費生活サポーターを募集しています。

INFORMATION 暮らしの情報

★市役所

- ▶本庁 ☎21-2111
- ▶花泉支所 ☎82-2211
- ▶大東支所 ☎72-2111
- ▶千厩支所 ☎53-2111
- ▶東山支所 ☎47-2111
- ▶室根支所 ☎64-2111
- ▶川崎支所 ☎43-2111

★一関市ホームページ

▶パソコンから <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/>

▶携帯電話から <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/m/>

★テレホンサービス

- ▶災害発生・休日(日曜・祝日)当番情報提供サービス ☎0180-991199
- ▶災害時の河川水位など
一関地域：☎21-8899
川崎地域：☎43-4112・4113

れ▼平成2年4月2日以降に生まれ、大学、短期大学または高等専門学校を卒業もしくは24年3月までに卒業見込み(人事院がこれらと同等の資格があると認める人を含む)の人※教官Aは男子、同Bは女子に限る。◇募集期間：4月1日(金)~14日(木)※最終日消印有効◇第1次試験日：6月12日(日)◇第1次試験地：仙台市、秋田市ほか

◇資格・定員：一般の消費者1人※市から同センターへ推薦します(応募者複数の場合は先着者を推薦)。◇内容：▼地域住民への消費生活関連情報の提供▼悪質業者などのセンターへの情報提供▼地元スーパーなどにおける単位価格表示の状況調査▼同センターが行う消費者教育関連講座への参加▼不当表示や不当景品に係る情報収集▼アンケートへの回答など※若干の謝礼をお支払いします。◇募集期間：4月4日(月)まで

消費生活サポーターを募集しています。

◇申込先・問い合わせ先：本庁生活環境課 ☎21-8342

第23回シルバー作品展
◇募集部門：▼日本画▼洋画▼彫刻▼工芸▼書▼写真◇出品資格：県内在住の60歳以上

均等・両立推進企業表彰 候補企業

厚生労働省では、女性の能力発揮を促進する取り組みや仕事と育児・介護との両立支援の取り組みをしている企業を募集し表彰しています。

◇応募期限：3月31日(土)
◇問い合わせ先：岩手労働局雇用均等室 ☎019(6)043010

催し・講座

骨寺村荘園遺跡村落調査研究報告会

◇日時：3月20日(日)12時30分~16時30分◇会場：本寺生活改善センター◇内容：考古・中世・近世・近代、民俗・景観・自然など、多様な分野から見た骨寺村荘園遺跡の調査研究成果を報告します。◇参加料：無料◇申し込み：不要
◎問い合わせ先：一関市博物館 ☎21-3180

衣装のご試着は予約制となります。お電話にてご来店日時をご予約下さいませ。

Spring & Summer Collection

開催中♡

9:30a.m.~6:30p.m. (ご予約制)
CLOSED / TUESDAY

レンタルドレスセンター
tel. 0197-22-6440
岩手県奥州市水沢区中町27 水沢駅前シズビル1F
定休日:毎週火曜日

2012年に成人式を迎えるお嬢様へ

新作レンタル振袖展 展示予約会開催

振袖レンタルフルパック
振袖一式・写真・美容・着付けが入ったトータルパックが好評!
¥84,000~¥315,000

成人式展示・予約会
3月開催日 10時~17時まで
19日・20日・21日
25日・26日・27日

Bridal Salon SHICHIFUKUJIN
プライダールサロン七福人

お問い合わせ先
ペリーノホテル一関 3F美容室
一関市山目字三反田179
tel. 0191-26-5015

一関文化センター催し物案内

◎問い合わせ先:同センター②2121

アメリカ空軍太平洋音楽隊 - アジアパシフィック・トレンズ
アメリカ空軍太平洋音楽隊—アジアに所属するプロのミュージシャン。バラエティに富んだジャンルの音楽を忠実に再現して演奏し、音楽を通じた国際親善大使として活動しています。60年代のアメリカンポップスから最新のヒット曲などを思う存分ご堪能ください。

◇日時… 6月7日⑧開場18:00、開演18:30
◇会場… 中ホール
◇入場料… 全席指定。一般1000円(当日1200円)、高校生以下500円(当日600円)
※3月17日⑧9:00~前売り券発売開始予定

公共施設使用料の緩和措置が変わります

21年4月の公共施設使用料の改定と減免の見直しにより、それまで使用料免除や減額となっていた場合などから急激な負担増とならないよう、段階的に講じている緩和措置の内容が4月から変わります。

◇変更内容… これまで100円であった1時間当たり1室の使用料の上限が、200円に変わります。

◇適用される場合… サークル・クラブが公民館などの会議室・ホールで行う生涯学習活動および農業施設で農業生産者団体が行う趣味・教養活動など
※各施設の使用料など詳しくは、その施設に直接お問い合わせください。

◎問い合わせ先… 本庁財政課管財係

70歳から74歳までの医療費自己負担割合について

70歳~74歳の医療機関窓口での自己負担割合が、24年3月末まで1割のまま据え置かれることになりました。該当する人には、3月末までに新しい高齢受給者証を郵送します(現在3割負担の人は負担割合の変更はないので、お手持ちの高齢受給者証を使用してください)。
※有効期限は、7月31日です。8月1日から使用する高齢受給者証は22年中の所得により判定し、7月下旬に郵送します。

◎問い合わせ先… 本庁国保年金課②8343

により異なります。

◎問い合わせ先:スポーツ安全協会岩手県支部⑧019(648)0400または一関市体育協会③3111

エコファーマーマーク使用停止について
持続性の高い農業生産方式の導入計画の認定を受けている人は、これまで全国環境保全型農業推進会議が商標登録したエコファーマーマークを使用することができましたが、管理上の都合から3月末でこのマークの使用が停止されることとなります(22年までに認定を受けた人は24年3月まで)

で利用できる経過措置あり)。

◎問い合わせ先:本庁農政課②8427

ジョブカフェ一関から
◇ジョブカフェ一関サテライト千厩の終了について:千厩支所1階に開設していた同相談窓口は3月30日⑧で終了します。ジョブカフェ一関(新鮮館おまちな内)または一関市ふるさとハローワーク(千厩支所内)をご利用ください。◇ジョブカフェ一関の営業時間について:4月から、平日9時~17時30分、⑨10時~16時に変更されます。

水道課職員を名乗る不審な電話・訪問にご注意ください

最近、水道課の職員をかたつて「水道料金の未納があるので後日集金に行く」などと支払いを迫る不審な電話が市内でありました。

市では、原則として水道料金の集金に伺うことはありません。

不審な電話や訪問を受けたときは、絶対にその場で対応せず、相手の所属、氏名、連絡先を確認してから次までお問い合わせください。

◎問い合わせ先:本庁業務課料金係または各支所水道課

23年度地域おこし事業について

市は、地域で取り組む事業や団体で行う事業など、自主的に地域おこしに取り組む事業を応援します。申請を希望する団体向けの相談を3月15日⑧~31日⑨の間にお受けします。

◎相談先・問い合わせ先:本庁協働推進課または各支所地域振興課

早春の妖精ミズバショウを訪ねて

◇日時:4月3日⑨9時30分~12時◇集合場所:いちのせき健康の森セミナーハウス◇定員:先着30人◇受け付け:3月15日⑧~27日⑨◇内容:往復3キロ程度の散策を行います(国有林のため、関係官庁

一関市民マラソン大会

◇日時:4月24日⑨8時30分~受け付け◇集合場所:一関市総合体育館前広場◇参加資格:市民または市内に通勤・通学する人(小学3年生以上)◇受付期限:4月19日⑧

◎問い合わせ先:県南広域振興局経営企画部⑧0197②3008またはジョブカフェ一関③3910

お知らせ
軽自動車の名義変更・廃車の手続きについて
軽自動車税は4月1日現在

スポーツ安全保険をご利用ください

◇対象:スポーツ・文化・ボランティア・地域活動を行う5人以上のアマチュア団体◇保険期間:4月1日~翌年3月31日◇掛け金:一人年額600~9000円※団体の種類

23年度霜紅大学

◇開設教室:▼川柳▼コーラス▼書道▼吟詠▼民謡▼おどり▼絵画▼大正琴▼陶芸▼庭園▼パンフラワー▼社交ダンス▼健康体操(3教室まで選択可能)※修学旅行、体育祭なども開催◇対象:おむね60歳以上の人◇入学手続き:4月6日⑧までに会費4500円を添えて。

◎申込先・問い合わせ先:一関公民館②2148

ふるさと雇用再生特別基金事業「第1回求職者ハソン研修」

◇日時:4月4日⑨~28日⑨9時~16時※⑨⑩を除く15日間◇会場:一関職業訓練センター(舞川)◇対象:定員:職業安定所に求職者登録をしている人・先着15人◇内容:実務に使えるワード、エクセル、インターネットの総合コース◇参加料:無料(テキスト代は別途2000円)◇受け付け:3月15日⑧~31日⑨(⑩⑪を除く)8時30分~17時◇申し込み:一関職業訓練協会で申込書に必要事項を記入して(電話不可)。

◎申込先・問い合わせ先:職業訓練法人一関職業訓練協会③7030

多重債務整理、消費者問題の相談

◇多重債務整理のための消費者救済資金融資相談:毎週⑨⑩⑪9時~17時◇弁護士・司法書士による消費者問題相談:毎週⑩⑪16時~毎週⑩⑪17時~※要予約。事前聞き取り必要◇会場:信用生協一関相談センター

◎予約先・問い合わせ先:同相談センター②6031

多重債務整理、消費者救済資金融資相談(予約制)

◇日時:3月23日⑨10時~13時◇会場:本庁会議室棟第5会議室◇内容:多重債務などに関する相談、消費者救済資金・生活再生資金の相談◇相談員:信用生協一関相談センター職員※予約は前日の17時まで。

◎予約先・問い合わせ先:本庁生活環境課②8342

相談

◎申込先・問い合わせ先:一関市総合体育館③3111

の軽自動車の所有者に課税されます。これらの車両を新たに取得したり、名義や住所を変更、廃車などをした場合、15日以内に手続きする必要があります。手続きを行わないと、譲渡前の所有者に納税通知書が送付されたり、下取りに出した車に翌年度も税金が課税されます。

3月中に軽自動車を廃棄し、手続きが遅れた場合は、廃棄した事実がわかる書類などの提示をお願いします。手続きの際には、必要なものを事前に確認の上、お出かけ下さい。

◎受付窓口・問い合わせ先:〔原動機付き自転車(124cc以下のバイク)・小型特殊自動車(農耕用など)〕本庁税務課②8241または各支所市民課税務係〔軽自動車(125~249ccのバイク、三輪、四輪)・二輪の小型自動車(250cc以上のバイク)〕一関地区交通安全協会③5264または東磐井地区交通安全協会⑤2343

※広告に関する問い合わせは、岩手日日新聞社②5111まで。

身近な生活情報いっぱい、読みやすい新聞。それが**岩手日日**です。

購読料(1カ月) **2,243円** (税込)

お支払いは**自動振替**をご利用下さい。

県南4ブロックごとの紙面
地域のニュースを中心に、スポーツ、連載企画、国内外のニュースも盛り沢山。

生活情報満載フリーペーパー「いぬにちりびんぐ」(毎週土曜日発行) 便利な「4ヵ月カレンダー」(年3回)

◀◀お試しサービス実施中▶▶
毎月10日~20日の間の1週間。無料で読みになれます。
※1世帯、1回(1週間)限りとさせていただきます。
※契約義務はございませんので、お気軽にご利用ください。

岩手日日販売株式会社 ☎0120-22-4317

■本社	一関市	〒021-0883	一関市新大町39	TEL.0191-23-8693
■東山	山	〒029-0302	一関市東山町長坂字西本町26-13	TEL.0191-47-3444
■水沢	水	〒023-0827	奥州市水沢区太田通り1丁目7-5	TEL.0197-51-6380
■江刺	江	〒023-1111	奥州市江刺区大通り1-15	TEL.0197-35-7220
■北上	北	〒024-0062	北上市藤治町2丁目14-37	TEL.0197-65-3887
■花巻	花	〒025-0075	花巻市花城町3-23	TEL.0198-41-2255

自分たちで木を育てる。育てた分だけ使う。自給自足の紙づくり。

「原料を自分たちで育て、成長した分だけ収穫する」という考えが海外植林事業「Tree Farm」構想。それは、まるで「木の畑」。

現在、その面積は東京23区の約2.7倍にあたる16.6万ヘクタールまで拡がりました。持続可能な原料調達を実現するために、さらに「Tree Farm」を拡大していきます。

NEPPON PAPER INDUSTRIES
日本製紙株式会社東北営業支社
〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-1-10(第二河北ビル)
TEL.022-262-3911



上/千厩酒のくら交流施設で酒の製造について説明を受けた後、新酒を試飲
左/川崎町の観光イチゴ園「もぐもぐ」でイチゴ狩りを体験

懐かしさ体験するツアー

体験型旅行により一関地方の魅力をじっくり味わってもらおうとするツアー「大人の楽校〜一関でタイムスリップ」は2月19、20の両日、行われました。一関体験型ツーリズム窓口が主催し、たびれっじ推進協議会が協力して企画。県内外から訪れた20人が餅つきやイチゴ狩りなどを体験しました。

江戸時代に建てられた千厩町の旧村上家住宅で入学式が行われ、ツアーがスタート。同所でおいとこの体験、餅つきの後は、一関地方の伝統的な餅本膳で昼食。千厩酒のくら交流施設ではせんまやひなまつりと酒蔵を見学しました。その後はイチゴ狩りを楽しみ、宿泊地となる藤沢町の館ヶ森高原ホテルへ。二日目はパン作り体験を行い、同町の農家民宿観楽楼ではとなどの郷土料理を食べ、卒業式を行いました。

盛岡市から友人二人で参加した菅原ひろ子さんは「古民家での食事は風情があり、本当にタイムスリップした気分ですね。餅料理の作法も初めて知り、新鮮でした」と旅を満喫した様子でした。

ほっと NEWS

こんなこと
ありました



せきを築くため大岩を砕こうとする姿を熱演する児童たち

先人「新右工門」の偉業熱演

大東町の摺沢小6年生児童32人は2月20日、大東コミュニティセンターで卒業記念の演劇「新右工門大堰物語」を上演しました。出演した児童と担任教諭らは、不屈の精神で農地を潤すせきを築いた郷土の先人の偉業を熱演し、大きな拍手が送られました。

地元摺沢の歴史や地名について調べた児童が、地名の由来となった「新右工門さん」の業績などをまとめ劇にしたもの。見守ってくれた地域の皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと、保護者らが実行委員会を組織し上演にこぎつけたものです。



室根の伝説を披露した読み聞かせボランティアの皆さん

紙芝居で後世に語り継ぐ

いちのせき元気な地域づくり事業による「室根の伝説を紙芝居に」の上演は2月20日、室根曲ろくふれあいセンターで催されました。室根に伝わる昔話や伝説を紙芝居にし、後世に語り継ぐことで先人の開いた郷土室根に愛着と誇りを持ってもらいたいと、旧小学校区単位で5話の紙芝居を製作しました。

ブックパートナー養成講座を受講した読み聞かせボランティア10人が「化け石物語」「裏の下の田圃」など披露。140人ほどの参加者は紙芝居の出来栄えと読み聞かせに聞き入っていました。